

「第1回 川内沢ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」

－ 開催概要 －

- 開催日時 平成24年3月29日(木) 13:40~14:51
- 場所 名取市役所 大会議室
- 出席者
 - 構成員 名取市長、岩沼市長
 - 学識経験者 真野明東北大学大学院工学研究科教授(増田川圏域河川整備学識者懇談会座長)、田中仁東北大学大学院工学研究科教授(増田川圏域河川整備学識者懇談会副座長)
 - 検討主体 宮城県副知事(知事代理)
- 討議概要
 1. 検討手順の概要(案)について
 - ・川内沢ダム建設事業は調査段階で本体工事に着手していないダムであることから、国土交通大臣から検証要請があったものである。
 - ・検証のため検討が必要であることから、学識経験者としても協力していく。
 2. 流域及び河川の概要について
 3. 川内沢ダムの概要について
 - ・昭和61年の8.5豪雨、平成6年の9.22の大水害により、仙台空港が水没するなど大災害を経験していることを踏まえ、地元の思いとしては、一日も早く計画どおりダム建設を実施していただきたい。
 4. 複数の治水・利水対策の立案について
 - ・増田川圏域河川整備計画について十分な議論を経て策定されており、更には、放水路が平成24年度に完成する予定である。ダム建設は都市部の内水対策を進める上でも必要なことから、早急なダム建設を望む。
 - 都市部の内水対策として排水機場は重要であり河川整備計画においても、内水対策として位置付けられている。震災に伴う地盤沈下や内水対策を十分に考慮した上で計画を進めていく。
 - ・一日も早くダム事業に取りかかっていたきたい。
 - ・対策案の選定については、妥当な結果と判断している。
 5. 今後のスケジュールについて
 - ・東日本大震災を受け第1回の検討の場の開催が遅れたが、平成24年度内に国土交通省へ報告出来るよう、検討作業を進めていく。

(平成24年4月20日 事務局とりまとめ)